

**2020年度 埋設事業部
防災訓練実施計画書
(第2部訓練)**

**日本原燃株式会社
埋設事業部**

第2部訓練概要

1. 訓練の目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節 2」に基づき、実施するものである。

また、本訓練は、「埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画」に基づき、「情報発信能力の向上」をねらいとし、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図るとともに、前年度訓練の課題改善・検証等を行う。具体的な達成目標、検証項目は以下のとおり。

(1) 「情報発信能力の向上」

達成目標：事業部対策本部から即応センター（E R C 対応ブース）へ施設状況等を情報共有ツールを用いて提供できること

検証項目：a. 適切な間隔または事象進展に応じて、C O P 等を作成できること
b. 新たに整備したデータベースでの情報共有とその運用方法が適切に実施されていること

(2) 「訓練課題への対応」

達成目標：2019年度総合訓練において抽出した改善事項に対する改善策が有効に機能し、改善が図られること

検証項目：2019年度総合訓練において抽出した改善事項に対する改善策が有効に機能していること

2. 実施日時および対象施設

(1) 実施日時

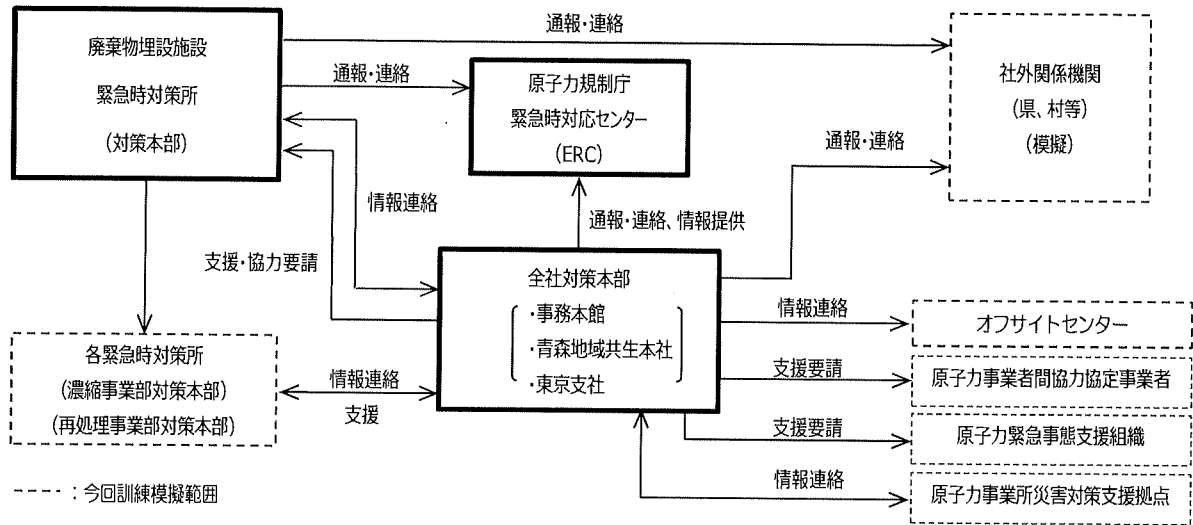
2021年2月4日（木） 13：30 ～ 15：30 （反省会を含む。）

(2) 対象施設

廃棄物埋設施設

3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

(1) 実施体制



(2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

(3) 訓練対象者

埋設事業部対策組織要員

4. 防災訓練の項目

(1) 通報訓練

(2) その他必要と認める訓練

- a. 対策本部対応訓練
- b. ERC対応訓練

5. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

原災法第 15 条事象に至る原子力災害を想定する。詳細は以下のとおり。

(1) 訓練形式

- ・訓練は、プレーヤーに訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。
- ・現場活動は実施せず、コントローラーが事故シナリオに基づき状況付与する形式にて訓練を行う。

シナリオ非提示のため非公開

6. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・訓練参加者は、マスク（またはマウスシールド）の着用とする。
- ・緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り制限し、他要員は自席もしくは会議室等に対応するものとする。
- ・緊急時対策所は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でアクリル板などによる仕切りを設置する。

【添付資料】

埋設事業部 防災訓練 第 2 部シナリオフロー

以上

目安時間	事象発生	ERCブース	緊急時対策所		管理建屋 制御室	管理建屋		管理建屋 管理区域外		埋設地	目安時間
		ERC対応者	対策本部	本部事務局、放射線管理班、復旧班、技術班 総務班、救護班	復旧班	復旧班	放射線管理班	救護班	復旧班	復旧班	

シナリオ非提示のため非公開

埋設事業部 防災訓練 第2部シナリオフロー

添付資料

目安時間	事象発生	ERCブース	緊急時対策所		管理建屋 制御室	管理建屋		管理建屋 管理区域外		埋設地	目安時間
		ERC対応者	対策本部	本部事務局、放射線管理班、復旧班、技術班 総務班、救護班	復旧班	復旧班	放射線管理班	救護班	復旧班	復旧班	

シナリオ非提示のため非公開

**2020年度 全社対策本部
防災訓練実施計画書
(埋設事業部 第2部)
(案)**

**日本原燃株式会社
安全・品質本部**

1. 訓練の目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節 2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「全社対策本部 原子力防災訓練中期計画」に基づき、「応用力の習得」をねらいとし、ERCとの情報共有および事業部への支援・協力について、課題を抽出するとともに、2019年度総合訓練および2020年度総合訓練の課題改善・検証等を行い、さらなる原子力災害に対する緊急時対応能力の向上を図る。

(1) 「即応センターとERCとの情報共有、通報・連絡」

達成目標：即応センターは、事業部対策本部からの情報を整理し、ERCプラント班との情報共有、通報・連絡ができること

検証項目：①事業部対策本部からの事故・プラントの状況、進展予測、事故収束対応戦略などの情報について、情報共有データベース、音声共有システムなどの情報共有ツールを用いて入手できること

②事業部対策本部から入手した情報を整理し、ERCプラント班へ情報提供できること

③ERCプラント班への説明にあたっては、系統図やCOP、ERC備付け資料等を活用していること

④10条確認および15条認定会議において、EAL判断根拠、発生事象・進展予測・事故収束対応の説明を適切にできること

(2) 「訓練時の課題に対する対応」

達成目標：2019年度総合訓練および2020年度総合訓練において抽出した改善事項に対する改善策が有効に機能し、改善が図られること

(2020年度総合訓練において抽出した改善事項については、単独施設発災で検証可能なものに限る。)

検証項目：抽出した改善事項に対する改善策が有効に機能していること

2. 実施日時および対象施設

(1) 実施日時

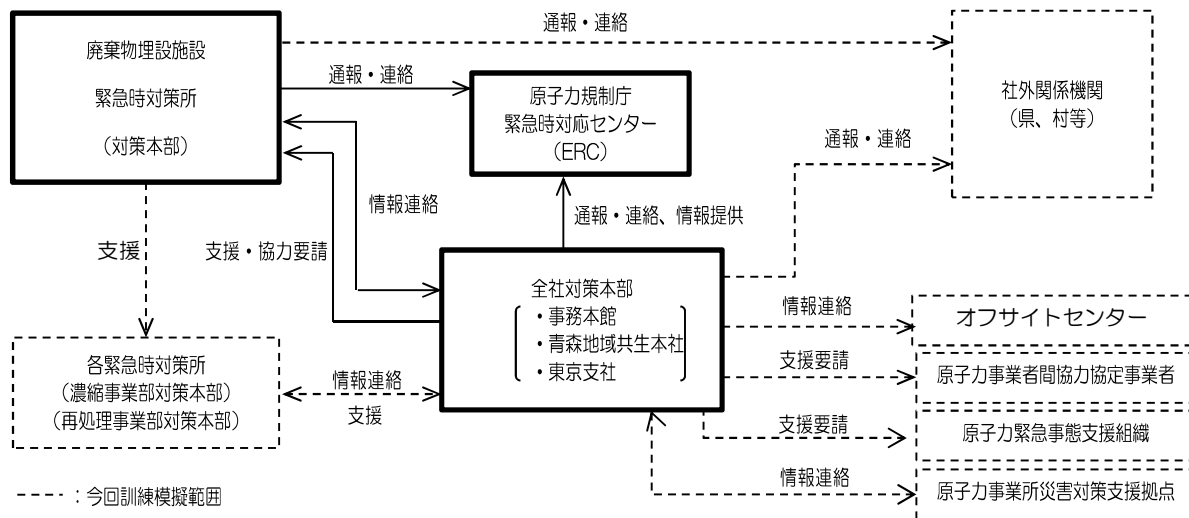
2021年2月4日(木) 13:30～15:30(反省会を含む)

(2) 対象施設

廃棄物埋設施設

3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

(1) 実施体制



(2) 評価体制

全社対策本部室等に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

(3) 訓練対象者

全社対策本部要員

4. 防災訓練の項目

(1) その他必要と認める訓練

- a. 全社対策本部運営訓練
- b. 即応センター運営（ERC対応）訓練

5. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

(1) 訓練形式

訓練シナリオを事前に通知しない「シナリオ非提示型」により実施する。

(2) 事象想定

原災法第15条事象に至る原子力災害を想定する。

シナリオフローを添付資料に示す。

6. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者（現場対応者含む）は、「検温の実施」および「マスク（または、マウスシールド）の着用」とする。
- ・ 全社対策本部室内で活動する要員は可能な限り人数を制限するものとし、他要員は自席もしくは会議室等に対応する。

- ・ 全社対策本部室内は、換気を実施するとともに、座席には可能な範囲でアクリル板（または、ビニールシート）を設置する。

なお、上記の対策の他、人が密となる状況が生じる場所においては、「フェイスシールド」を着用する。

7. 添付資料

全社対策本部 防災訓練 シナリオフロー

以 上

	埋設事業部	全社対策本部	ERC対応ブース	オフサイトセンター (模擬)	後方支援拠点 (模擬)	再処理事業部 (模擬)	濃縮事業部 (模擬)	
<h1>シナリオ非提示のため非公開</h1>								

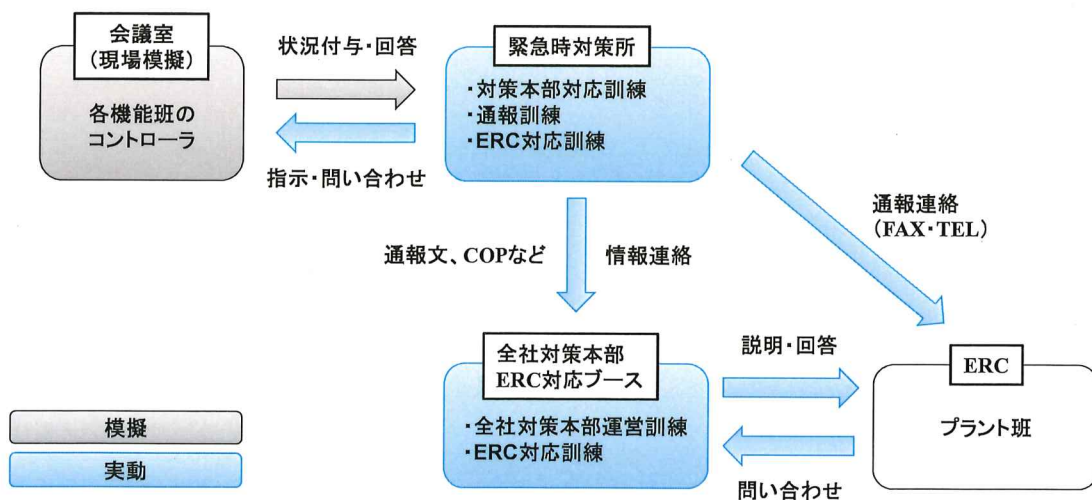
	埋設事業部	全社対策本部	ERC対応ブース	オフサイトセンター (模擬)	後方支援拠点 (模擬)	再処理事業部 (模擬)	濃縮事業部 (模擬)
<h1>シナリオ非提示のため非公開</h1>							

廃棄物埋施設 防災訓練 第2部訓練

日本原燃株式会社

1. 訓練体制・訓練方法

- ・ 現場活動は実施しない。
- ・ 現場活動に係る必要な情報は各機能班のコントローラより、緊急時対策所の各機能班に情報を付与する。
- ・ 緊急時対策所からの現場への指示や問い合わせは、各機能班のコントローラが受け、対応する。



1. 訓練体制・訓練方法

- 第2部訓練においては、以下の訓練および関係機関との連携は実施しない。
 - オフサイトセンターの設営および連携
 - 後方支援拠点の設営
 - ERC広報班との連携

3

2. その他

<他施設の対応について>

地震を起因とするため、本来は再処理、廃棄物管理、濃縮施設の通報連絡や施設状況確認などの各種対応を行う必要があるが、今回の訓練においては、各施設に異常はないとして、状況付与を行う。

4